

都市再生整備計画 事後評価シート
牛川西部地区

平成28年3月

愛知県豊橋市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	豊橋市	地区名	牛川西部地区	面積	48ha
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	2,661百万円	国費率	0.4

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名	【道路】市道 牛川町98号線、【公園】牛川公園、【土地区画整理事業】牛川西部 【地域創造支援事業】生活環境改善事業(牛川西部地区)				
		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業 提案事業	— —	— —		— —	
	新たに追加した事業	基幹事業 提案事業	— 【事業活用調査】牛川公園整備計画ワークショップ	— 地域の声を反映した公園整備を行うため		— 影響なし	
	交付期間の変更	当初 変更	H23～H27 —	交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		—	

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	消防車両進入困難区域率	%	17	H22	3	H27	—	8	△	あり	目標値には達しなかったが、土地区画整理事業が進み、狭隘道路の解消により、消防車両進入困難区域が減少し、防災性が高まった。	平成28年4月
							なし	●				
指標2	歩道整備率	%	24	H22	88	H27	—	83	△	あり	目標値には達しなかったが、土地区画整理事業により歩道が整備され、整備率が向上した。	平成28年4月
							なし	●				
指標3	建築行為許可件数	件	153	H22	330	H27	—	264	△	あり	目標値には達しなかったが、土地区画整理事業など各事業により、交通の安全性、防災性が向上した。公園事業により公園が整備されるおおいとゆりのある住環境が形成された。	平成28年4月
							なし	●				

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	20～30代の地区内人口	人	280	H23	/	/	—	337	/	/	各事業を実施したことにより、子育て世代が流入し20～30代の人口が増加し、次世代に繋がるまちづくりとなっている。	平成28年4月
							なし	●				
その他の数値指標2	幼児・児童の地区内人口	人	112	H23	/	/	—	196	/	/	各事業を実施したことにより、子育て世代が流入し、0～12歳の人口が増加し、次世代に繋がるまちづくりとなっている。	平成28年4月
							なし	●				
その他の数値指標3					/	/			/	/		

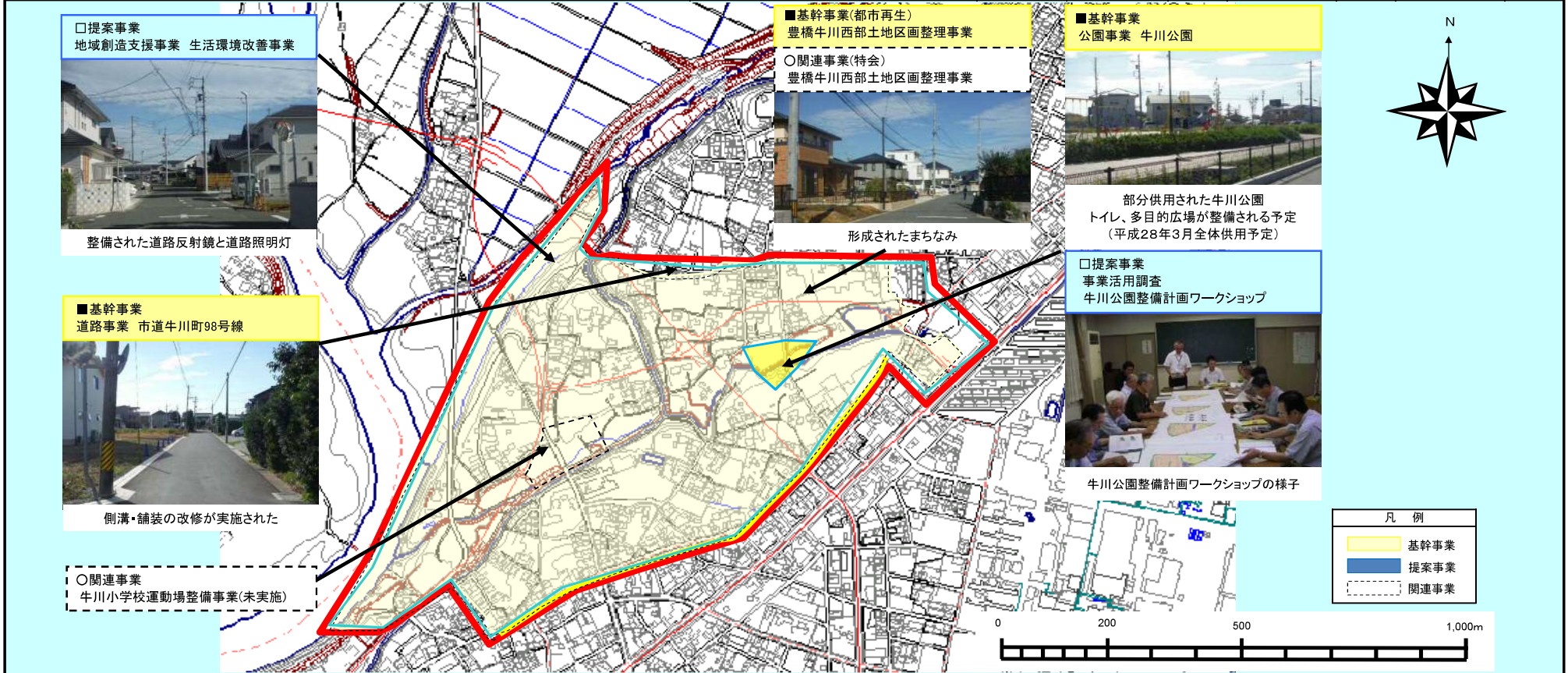
4)定性的な効果発現状況	地区に流入した若い世代や子どもが夏祭りなど地域の催しに積極的に参加することにより、地域の交流が活発化した。											
--------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	土地区画整理組合の決算報告により進捗状況を確認すると共に、庁内の他部局に対しても随時、事業進捗状況について確認を行い、都市再生整備計画事業全体を把握しながら推進に努めた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	事業を進捗させるためには、今後も随時進捗状況を確認しながら事業を行う。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
	住民参加プロセス	牛川公園整備計画ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	供用後の利活用について、今後も市民の意見を聞くことで利用の促進を図る。	
都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●			
持続的なまちづくり体制の構築	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	—		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—			
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—			

様式2-2 地区の概要

牛川西部地区(愛知県豊橋市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
住み続けたいと感じられる快適な暮らしが得られるまちづくり ①ゆとりある住環境の創出 ②交通災害・自然災害に強い、安全安心なまちの形成 ③憩い・地域交流の場の創出	消防車両進入困難区域率	単位： %	17	H22	3	H27	8	H27
	歩道整備率	単位： %	24	H22	88	H27	83	H27
	建築行為許可件数	単位： 件	153	H22	330	H27	264	H27
	20～30代の地区内人口	単位： 人	280	H23	—	—	337	H27
	幼児・児童の地区内人口	単位： 人	112	H23	—	—	196	H27
	—	単位： —	—	—	—	—	—	—



まちの課題の変化

- ・ワークショップにより住民の意見を取り入れながら牛川公園が整備され、平常時の地域交流の場、災害時の緊急避難場所が確保された。今後も引き続き地域コミュニティの形成の場となる公園の早期整備が求められている。
- ・土地区画整理事業により狭隘道路の解消や歩道整備が進み、生活環境改善事業により道路反射鏡・道路照明灯の設置が進んだことにより、安全安心な生活空間の形成が進んだ。今後も土地区画整理事業を推進すると共に、より安全なまちづくりを進めていく必要がある。
- ・土地区画整理事業により良好な住環境の形成が進んだ。一方で、地域の歴史の継承に配慮したまちづくりが求められている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・本事業で得られた効果を持続しさらなる発展を図るため、土地区画整理事業や公園事業の継続に加え、地域の歴史の継承に配慮したまちづくりを進める。
- ・現在市としては、中心市街地にぎわい創出等に取り組んでおり、本地区は、中心市街地と近いため、これら取り組みとの連携を検討していく。